

『カーボンニュートラル達成に貢献する 大学等コアリション』及び 岐阜大学における取組

2022年2月18日

村岡 裕由

東海国立大学機構 岐阜大学

流域圏科学研究センター

高等研究院 脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター

高等研究院 地域環境変動適応研究センター

東海国立大学機構

カーボンニュートラル推進室

カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション

ビジョン・ステートメント

- 2021年3月23日学長等サミット
- 7月29日設立総会で188の大学等が参画を表明。
- 文部科学省、環境省、経済産業省が支援。

カーボン・ニュートラル*の実現は、自然環境を生存基盤とする人類の存続の危機に関わる課題であり、SDGs達成に向けて国や地域を持続可能で強靱な経済社会へと再設計していくために必要不可欠である。我が国や世界の2050年までのカーボン・ニュートラル達成や気候変動による甚大な影響への対応のためには、**技術イノベーションのみならず経済社会システムのイノベーションが必要**であり、そのための**知見の創出を加速**するとともに、**これらを総動員して、地域、国、世界に貢献**することが求められている。

このようななか、**大学は、教育・研究・社会貢献活動を通じて**、国や地域の政策やイノベーションの基盤となる科学的知見を創出するとともに、その知を普及する使命を持ち、以下の例のように、**国内外に果たすことのできる役割は多様であり、かつ極めて大きい。**

- 人文・社会科学から自然科学までの「**総合知**」の創出と**分野融合**、これらの知を活用した**地域のゼロカーボン化や気候変動への適応**に係る取組への協力
- 自治体や企業、大学間の共同研究等を通じた、脱炭素技術やプラスチック代替・循環技術などの**新たな技術や価値観・行動様式の創出**
- 環境分野における**人材育成やリテラシー向上**
- 地域における社会実装の場としての**大学キャンパスにおけるゼロカーボン化の推進**
- 誰ひとり取り残さない社会の実現に向けた**世界貢献と国際連携**

以上を踏まえ、大学が、国、自治体、企業、国内外の大学、研究機関等との連携を通じ、取組や成果の水平展開、革新的なイノベーションを生み出す研究開発や成果の社会実装の推進、ネットワーク・発信力の強化などを行う場として、**「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」を立ち上げ**、社会における**大学の機能と存在感を一層高める**とともに、カーボン・ニュートラル達成に向けた取組を**大学から大学、地域、国、世界へと、次々と展開**させること、また、関係する大学等の総意としての**発信を通じて社会の在り方等により良い変化をもたらす**ことに貢献することをここに決意する。

令和3年7月29日
188の国公立大学等
文部科学省、経済産業省、環境省

(*) ここでは、二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガスの排出量から、温室効果ガスの吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにすること。（「ゼロカーボン」も同じ）

カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション

5つのワーキンググループにより活動を展開

ゼロカーボン・キャンパスWG

2050年までの大学キャンパスのゼロカーボン化を目指した取組の加速のため、2025年までのできるだけ早期にワーキンググループの全参加大学においてこれに向けた方針やロードマップ等を策定し、順次取組を推進できるよう、先進的な取組事例や研究成果等の必要な知見を展開する。

地域ゼロカーボンWG

カーボン・ニュートラルに向けた地域の社会変革を促すための大学と自治体等、企業が連携した取組の推進や、地域事例の横展開やスケールアップ等を支えるための知見の創出とその実装を通じ、多様な地域モデルの構築や他の地域等への展開を図るとともに、取組等を通じて抽出した課題等の共有、議論、発信を行う。

イノベーションWG

カーボン・ニュートラルの達成に貢献するための脱炭素技術その他の知見に係る共同研究やその成果の社会実装を加速するため、国や地域における産学官民連携を強化するための体制整備を推進する。

人材育成WG

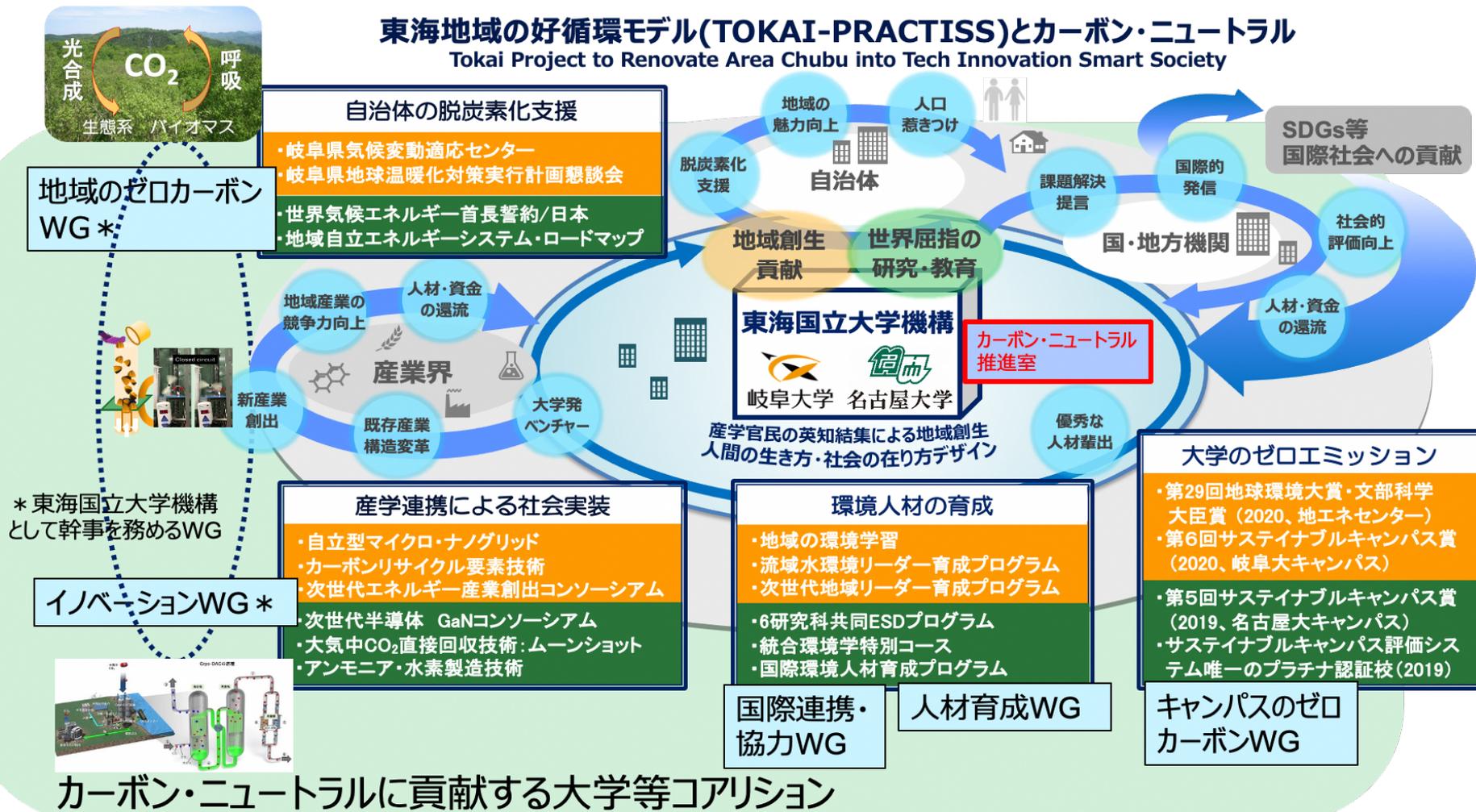
カーボンニュートラル達成に向けた各大学における人材育成に係る取組や、産学官民の人材交流等を推進するため、国内外の先進的な知見を集約・共有するとともに、大学間連携等による新たな共同の取組について検討・実施し、その成果の横展開を図る。

国際連携・協力WG

我が国のカーボンニュートラル達成と世界貢献に向けて、国外の大学やネットワーク等との連携を強化し、世界の先進事例等の有益な情報・知見の収集や国際プロジェクト等の推進を図るとともに、国際協力の観点も含め、我が国の成果を世界に発信・展開する。

カーボン・ニュートラル達成に向けた 東海国立大学機構のビジョン

東海地域の好循環モデル(TOKAI-PRACTISS)とカーボン・ニュートラル Tokai Project to Renovate Area Chubu into Tech Innovation Smart Society



* 東海国立大学機構として幹事を務めるWG

イノベーションWG*



カーボン・ニュートラルに貢献する大学等コアリション

東海国立大学機構

カーボンニュートラル推進室

https://www1.gifu-u.ac.jp/~gu_cnee/index.html

学術研究・産学官連携統括本部

岐阜大学
学術研究・産学官連携推進本部

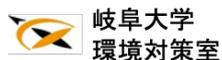
高等研究院

『脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター』

センター長：村岡裕由 副センター長：板谷義紀

ミ
ッ
シ
ヨ
ン

- カーボンニュートラルに貢献する大学等コアリションの各種活動への参加に関する連絡調整。
- 脱炭素及び環境エネルギー分野の研究・実践・地域協働・人材育成に関する情報交流、学内外連携の支援。



東海国立大学機構 岐阜大学
学術研究・産学官連携推進本部高等研究院
地方創生エネルギーシステム研究センター
Gifu Renewable Energy System Research Center



RARC
岐阜大学地域環境変動適応研究センター
Regional Adaptation Research Center



岐阜大学
流域圏科学研究センター



CCSC 地域協学センター
Center for Collaborative Study with Community
国立大学法人 東海国立大学機構 岐阜大学

ゼロカーボン・キャンパス分野

キャンパスをゼロカーボン化する

<コアリションWGへの参画>

- ✓ 大学の形態・特性に応じた脱炭素化モデルの構築と横展開
- ✓ WG全参加大学による方針とロードマップ等の策定
- ✓ 国際的枠組みへの参画の推進

地域ゼロカーボン分野

地域のゼロカーボン化に貢献する

<コアリションWGへの参画>

- ✓ 自治体ネットワーク等と連携した取組と成果の共有
- ✓ 地域の計画・シナリオ策定に役立つ知見を創出する研究
- ✓ 技術課題・制度的課題等の抽出と取りまとめ

イノベーション分野

研究開発と社会実装の推進のため産学官民連携を強化する

<コアリションWGへの参画>

- ✓ CNを共通の目標とする新たな産学官民連携枠組みの創設
- ✓ 新たな技術や価値観、行動様式創出のための人文・社会科学から自然科学までの研究者等が議論する場等の創設

人材育成分野

カーボンニュートラル・環境共生を推進する人材を育成する

<コアリションWGへの参画>

- ✓ CN・環境課題解決人材の在り方、必要な要素等の議論
- ✓ 大学間連携による共同教育プログラムや教材等の創設
- ✓ 企業、自治体、大学等間の人材交流の推進

気候変動およびカーボンニュートラルに関する 地域連携の主な取組事例と今後の課題等

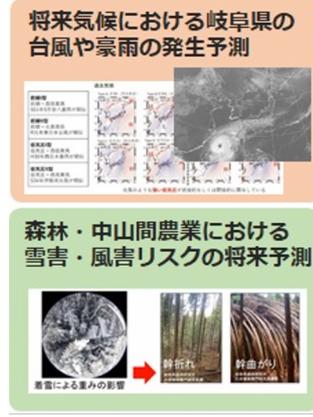
カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション
地域ゼロカーボンWG会合資料（2021年11月18日）

1. 地域連携の事例

- 大気CO₂濃度および森林炭素固定能の長期観測（高山市）：1993年に産業技術総合研究所と岐阜大学が高山市の協力を得て長期モニタリング拠点を設立。データや知見を気象庁や国際機関（WMO）、国内外の気候変動科学等関連の研究教育に提供。
- 岐阜県気候変動適応センターの設置（岐阜県）：気候変動適応法（H30年12月施行）に基き、岐阜県－岐阜大学の協力により2020年4月に設置。岐阜県が保有する現場知・経験知、岐阜大学の科学知、地域のステークホルダーとの協働により、気候変動影響に対する効果的な適応策を共創。岐阜大学地域環境変動適応研究センターが主体となり研究・技術開発・普及を推進。岐阜県地球温暖化対策実行計画策定懇談会にも貢献。
- 地域の多様なステークホルダーとの協働プラットフォームの設置：岐阜大学の教員や学生、自治体職員、民間企業との連携を様々な分野での協働により促進。「岐阜大学地域協学センター」（教育・研究・社会貢献の企画・推進）、「ぎふCOC+事業推進コンソーシアム」（岐阜大学と岐阜県、岐阜県市長会・町村会）、「次世代地域リーダー育成プログラム（環境、教育、地域、産業リーダーコース）」など。
- 地域と大学との交流機会の構築・継続、および研究データや知見の提供（公開）
 - ・ 岐阜大学フューチャーセンター（学生、市民、企業、行政担当者の協働により地域課題解決に向けたワークショップを開催）
 - ・ 飛騨高山学会、オープンカレッジin飛騨への参加（研究成果の共有、知見提供、市民との交流を促進）
 - ・ 大気CO₂濃度、山地気象、森林CO₂吸収量などの観測データの公開（大気CO₂：WDCGG、山地気象：岐阜大学流域圏科学研究センター、森林CO₂吸収量：AsiaFlux）。これらの研究ネットワークの国際シンポジウムや一般講演会の現地開催。



CO₂観測タワー
（岐阜大学
高山試験地）



岐阜大学と岐阜県の気候変動適応に関する共同研究事例（2020年度）

2. 地域連携における課題

- 脱炭素（カーボンニュートラル）および自然共生社会の構築の必要性の共有
- 脱炭素・気候変動適応に向けた自治体等のニーズと大学の研究教育シーズのマッチング
- 地域が抱える複合的な課題に対する分野融合的かつ長期スパンでの連携体制の構築

(参考)

岐阜大学公開講座

SDGs×地(知)拠点

人がつながる地域づくりと大学

カーボンニュートラルでひろがる 地域活性化の可能性

2021年12月4日(土)

13:00-16:00 オンライン開催 ZOOMによる限定配信

参加
無料

2021年11月にイギリス・グラスゴーで気候変動枠組条約締結国会議(COP26)が開催されるなど、カーボンニュートラル、脱炭素などのキーワードを目にする機会が増えています。今回の講座では、地球規模の課題を地域や自分ゴトに引き寄せて、日常の行動へ発展させていくためのヒントを探ります。

定員
200人

プログラム

- 13:00- 開会挨拶 岐阜大学地域協学センター長 益川 浩一
- 13:05- オープニングトーク「カーボンニュートラルとは？」
岐阜大学脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター長 村岡 裕由 教授
- 13:15- 基調講演 名古屋大学環境学研究所 高野 雅夫 教授
- 14:15- 各セクターの取り組み紹介
①学校教育・社会教育現場から
瑞浪市教育委員会教育総務課課長補佐(兼)施設管理係長 塚谷 浩嘉 氏
②自治体・地域の現場から
株式会社アール・エビル 代表 高澤 康之 氏
③環境社会学の視点から(ビデオ出演)
金沢大学先端観光学研究センター准教授 菊地 直樹 氏
- 15:15- 講演者らによる意見交換
岐阜大学次世代地域リーダー育成プログラム修了生 只井 運菜さん
司会: 地域協学センター 助教 塚本 明日香
- 15:55- 閉会挨拶

申し込み方法

地域協学センターWEBサイトより申し込みください。
お申し込み受付後、開催日までにZOOMの招待リンクを送信させていただきます。

● 地域協学センターWEBサイト「イベント」
http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp/ccsc/index/entry_list

お申し込みの際は確実に連絡の取れる電話番号・メールアドレスを入力してください。

下記のQRコードからも
お申し込みいただけます。



要事前申込!!

12/1(水)
締切



CCSC 地域協学センター
Center for Collaborative Study with Community
TEL.058-293-3880
[E-Mail] ccsc@gifu-u.ac.jp [FAX] 058-293-3881
[URL] http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp/

主催: 地域協学センター
共催: 脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター



名古屋大学フューチャー・アース研究センター

適応と緩和・脱炭素社会

日時 12月18日(土)
13:15 ~ 16:30

名古屋大学
環境総合館 レクチャーホール
+
オンライン配信

申込み
<https://forms.gle/bGtsdY0uJGy8EfeUA>

ハイブリッド
形式での
開催!

地球規模の気候変動を踏まえ、日本および中部地域における気候変動と気象災害に対する社会の適応とレジリエンス向上に向けた戦略を考えると、脱炭素社会の構築や温室効果気体排出削減(緩和)に向けた大学の取り組みを広く公開する機会とする。特に、中部地域の関係諸団体(自治体・経済界・マスコミ等)との連携を図り、地域住民との活発な意見交換の場を設ける。さらに、気候変動への適応と緩和に関する名古屋大学と岐阜大学との連携研究を強化する。

挨拶 杉山 直 名古屋大学副総長 名古屋大学フューチャー・アース研究センター長

第1部
適応

題旨説明: 気候変動にともなう永久凍土融解とシベリア社会の適応

榎山 哲哉 教授 名古屋大学宇宙地球環境研究所

樹木年輪の酸素同位体比から見た日本の気候変動と適応の歴史

中塚 武 教授 名古屋大学大学院環境学研究科

中部地域の気候変動と気象災害への適応

吉野 純 准教授 岐阜大学工学部附属応用気象研究センター

第2部
緩和

気候変動下における岐阜県の森林による炭素吸収量の将来予測

斎藤 琢 准教授 岐阜大学流域圏科学センター

脱炭素社会に向けた技術開発

則永 行庸 教授 名古屋大学未来社会創造機構

第3部
共催

パネルディスカッション

モデレーター: 村岡 裕由 教授 岐阜大学地域環境変動適応研究センター/流域圏科学センター

名古屋大学未来社会創造機構 名古屋大学大学院環境学研究科 名古屋大学宇宙地球環境研究所

岐阜大学地域環境変動適応研究センター 岐阜大学流域圏科学センター 岐阜大学工学部附属応用気象研究センター

公開シンポジウム 2021

中部の気象災害
気候変動を考える。